

## 令和6年度 堺市スクールカウンセラー相談人数報告書

 月分

学校名 **堺市立**

スクールカウンセラー氏名

1か月間に相談等を行った人数(延べ人数)を報告してください。 (例) Aさんへのカウンセリングを3回行った。 →相談人数は3人  
X、Y、Z教諭3人へのコンサルテーションを3回行った。 →相談人数は9人

学校種	相談者	相談内容													合計				
		①不登校	②いじめ問題	③暴力行為	④児童虐待	⑤友人関係	⑥貧困の問題	⑦ヤングケアラー	⑧非行・不良行為	⑨家庭環境(④⑥を除く)	⑩教職員との関係	⑪心身の健康・保健	⑫学業進路	⑬発達障害等	⑭性的マイノリティ	⑮その他内容	(人)	うち、性的な被害(※2、3)	うち、特別支援学級(※4)
小学校	児童生徒																		
	保護者																		
	教職員																		
	小計																		
中学校	児童生徒																		
	保護者																		
	教職員																		
	小計																		
高等学校	児童生徒																		
	保護者																		
	教職員																		
	小計																		
その他(幼・支援)	幼児児童生徒																		
	保護者																		
	教職員																		
	小計																		
合計	幼児児童生徒																		
	保護者																		
	教職員																		
総合計																			

※ 1回の相談者や相談内容が複数項目に該当する場合は、主となる項目1つに記載してください。

※2 「性的な被害」とは、AV出演強要、いわゆるJKビジネスやストーリーの結果生じた性的な被害、性的虐待、児童ポルノ、その他性犯罪・性暴力などの形態は問わず児童生徒が性的な被害を受けたもの全てを含む。

※3 「うち、性的な被害」欄には、「合計」数のうち、主たる内容がどうかに関わらず少しでも性的な被害に関する相談があった場合にその数を記載してください。

(例) 不登校のAさんを支援していたところ、その支援の過程で性犯罪の被害を受けていたことが判明し、相談等を行った場合、「不登校」欄に「1人」と計上するとともに、「うち、性的な被害」欄に「1人」と記載してください。

※4 「うち、性的な被害」のうち特別支援学級に係る相談を記載してください。